

オムロンデー、全世界で社会貢献活動

オムロン(株) 良き企業市民推進部
部長 山本正行

世界各地で 8000 人が活動に参加

5月10日はオムロン株式会社の創立記念日である。オムロンでは、毎年この日をオムロンデーとしている。創業記念式典のあと、日本国内だけでなく全世界のオムロングループの社員が一斉に、「社憲」の理念のもと企業市民として社会への貢献を考え、具体的な活動としてボランティアや環境保全の取り組みを実行している。

活動の内容は多彩である。たとえば、ブラジルからは「老人ホームを訪問し、調理したフルーツサラダを皆さんにふるまった」、アメリカからは「DV被害女性センターでのチャリティパーティで、会場設営の補佐およびカメラマンを務めた。また参加者に撮影した写真のプレゼントや写真販売をおこない、写真代をセンターに寄付した」、タイからは「エビの養殖地確保のために海岸線の侵食が激しい地域で、保全活動としてマングローブの植林をおこなった」、中国・上海からは「障害を持つ児童と散歩やゲームをするなどにもすごした」等々である。ほかにも、事業所・営業所

周辺の清掃活動や献血、あるいはぞうきんを縫って公共施設への寄贈をするなど、それぞれの地域で工夫を凝らしている様子がうかがえる。今年も全世界で8000人を超える仲間がオムロンデーの社会貢献活動に参加した。



障害を持つ子どもたちを動物ふれあいパークに招待し1日をともに過ごす。また、子どもたちが通う養護学校に専用器具などを寄付(イギリス)

「企業市民憲章」の実践としてスタート

オムロンの社憲は、故立石一真創業者が1959年(昭和34年)に制定した「われわれの働きで、われわれの生活を向上し、より良い社会をつくりましょう」である。「社会にあって企業は公器として、社会の発展に貢献しなければならない」との考えに基づき「企業の公器性」という理念を経営のバックボーンとすることを示したものである。世に先駆けて「企業の公器性」をうたい、企業市民として社会に貢献する企業理念を表わした社憲の精神は、オムロン社員の誇りであり、さまざまな企業活動のベースとなっている。

「オムロンデー」として創業記念日



自然センター内の植物園で除草と根囲いに取り組む(アメリカ)

企業市民憲章

私たちは、「よりよい社会」の実現をめざし、自らの「人間性」を高め、人々と「心」を結び、「誇り」をもって行動します。

活動指針

- (1) 企業は社会とともにあります。
私たちが、「あたたかい人間性」と「誇りある市民性」をもって行動することは、社会をよりよくし、自らを高めるものです。
- (2) 企業市民活動は、自立と向上を目指す人々と手をつなぎ、創造力と行動力によって、ともに明日の社会を創っていくことを目指します。
- (3) 私たちは、地域社会と人々の未来に、熱意と誠意を持って接し、自らの役割を自覚し、知恵と汗を惜しみません。
- (4) 企業市民としての「誇り」とは「人の心」を大切にする自覚です。
これを、家庭、地域社会、そして職場でも発揮しましょう。

に社会貢献活動に取り組む活動がスタートしたのは1991年（平成3年）である。そして、同じ年にオムロンの「企業市民憲章」が制定された。社憲にうたわれている「企業の公器性」を、本来の事業活動を通じての公器性である「経営の公器性」と、企業も社会を構成する一員という考え方のもとに、企業市民活動として本来の事業以外の分野で実践する「社会の公器性」の2つの側面を示し、その「社会の公器性」の活動指針として制定された。それが「企業市民憲章」であり、オムロンデーの社会貢献活動も「企業市民憲章」のもとに実践



動物保護施設に保護されている犬を散歩に連れて行く
(スロバキア)

されている。

当初、「オムロンデー」の社会貢献活動は全国の事業所、関係会社を対象にスタートした。しかし、事業のグローバル化が急速に進む中であって、オムロンデーの取り組みが世界へと展開されるにはそれほどの時間を要しなかった。4年後の1995年（平成7年）には、世界各地のオムロングループ社員が「オムロンデー」に社会貢献活動をおこなうようになり今日に至っている。オムロングループの全社員が社憲の精神を再度確認し、その精神を具体的に実践することによって、新しい企業の文化づくりを考える日がオムロンデーである。

「エコボラン」、さらなる明日へ

オムロンは今年創業75周年を迎えた。75周年記念グローバルイベントとして記念日である5月10日を開始日とする「エコボラン」活動をスタートした。エコボラン活動とは、環境（エコ）に良い活動と社会奉仕（ボランティア）を組み合わせた総称で、オムロングループの全社員がこの活動を推進していくための合言葉である。社員一人ひとりの自律的なエコボラン活動をポイント化してWEB上の登録システムで集計し、期間終了時（9月30日）の累積ポイントに応じて地域あるいは活動団体に寄付をおこなうことになっている。一人ひとりの社会貢献の気持ちが、企業の風土として当たり前になるように、また、一人ひとりの生活のレベルにまで発展させることを目指している。「企業は社会の公器である」とした企業理念の浸透とその活動はオムロンのDNAとして永遠に引き継がれ、地域社会に愛される企業市民の挑戦は続く。

◆オムロングループの社会貢献活動

<http://www.omron.co.jp/about/social/>